

- 情報システム戦略

1. 情報システム戦略

経営戦略に基づいた情報システム全体のあるべき姿を明確にして、組織としての情報システム全体の最適化方針を決定する方針。

2. IoT(Internet of Things)

コンピュータなどの情報通信機器だけでなく様々なものに通信機能をもたせ、インターネットに接続することによって自動認識や遠隔計測を可能にし、大量のデータを収集・分析して高度な判断サービスや自動制御を実現すること。

3. M to M(Machine to Machine)

倉庫の在庫状況を遠隔監視したり、製造機器を集中制御したりするなど、機械と機械が通信ネットワークによって情報を交換することにより、自律的な判断で制御や動作を行うこと。

4. ロボティクス(Robotics)

AI(人工知能)、IoT、センシング技術などを応用して、ロボットの設計や製作、制御や運転に関する研究を行うロボット工学。

5. EA(Enterprise Architecture)

企業の業務と情報システムの現状を把握し、目標とするあるべき姿を設定して、全体最適を図る手法。業務とシステムの最適化を図る。業務体系、データ体系、適用処理体系、技術体系の四つの主要概念から構成される。

6. SOA(Service Oriented Architecture)

サービスというコンポーネントからソフトウェアを構築することによって、ビジネスの変化に対応しやすくしようとするサービス指向アーキテクチャ。

7. DOA(Data Oriented Approach)

データ中心アプローチ。データの扱いから考えてシステム設計を行う手法。

8. UML (Unified Modeling Language)
業務の流れを、図式的に記述することができるモデリング手法。
9. DFD (Data Flow Diagram)
対象業務の処理過程と情報の流れを表すために用いられる図表。プロセス間で受け渡されるデータの流れの視点から、業務やシステムを分析するために用いるモデリング手法。
10. E-R 図 (Entity Relationship Diagram)
エンティティ(実体)とエンティティ間の関係(リレーション)を整理して表現できる実体関連図。
11. アウトソーシング
業務プロセスの一部を外部の業者に委託すること。
12. BYOD (Bring Your Own Device)
従業員が私的に保有する情報端末を業務に利用すること。
13. グループウェア
スケジュール管理などの情報共有機能を持ち、ネットワーク上で共同作業の場を提供することによって、組織としての業務効率を高めるツール。
14. ワークフローシステム
社内の決裁申請手続の迅速化と省力化を狙いとして導入するシステム。
15. シミュレーション (Simulation)
システムの動作や実験結果などを、他のシステムによって模擬すること。
16. BPM (Business Process Management)
業務の流れをプロセスごとに分析整理し、問題点を洗い出して継続的に業務の流れを改善する業務プロセス。
17. BPR (Business Process Reengineering)
企業の業務効率や生産性を改善するために、既存の組織やビジネスルールを抜本的に見直して、再構築する業務プロセス。

- ソリューションビジネス

18. クラウドコンピューティング

ソフトウェアやデータベースを、ネットワークを通じて利用する方式や考え方。

19. ISP (Internet Services Provider)

インターネットに接続できる通信回線を提供する事業者、又はそのサービス形態。

20. MSP (Management Services Provider)

サービス提供事業者が、ほかの企業の情報システムに関する企画や開発、運用、管理、保守業務を行うサービス。

21. ASP (Application Service Provider)

サーバ上のアプリケーションソフトウェアを、インターネット経由でユーザに提供する事業者、又はそのサービス形態。

22. SaaS (Software as a Service)

ユーザが利用するサービスという視点から、ソフトウェアの必要な機能だけを必要時に、ネットワーク経由で提供するサービス。

23. PaaS (Platform as a Service)

サーバ、ネットワーク、ストレージ、OS など、アプリケーションを稼働させるための環境を提供するサービス。

24. DaaS (Desktop as a Service)

デスクトップ仮想化。個々のデスクトップ環境を、集中管理されているサーバ上に構築して、ネットワーク経由で利用できるサービス。

25. SI (System Integration)

ユーザの要求に合わせて最適なシステムを設計し、構築、運用、保守、更新までの作業を統合して提供するサービス。

26. EDI (Electronic Data Interchange)

電子データ交換。自社と得意先の間で、見積書や注文書などの商取引の情報をネットワーク経由で相互にやり取りする仕組み。

27. ハウジング
サービス提供事業者が、利用者の通信機器やサーバを自社の建物内に設置し運用するサービス。
28. ホスティング
専門業者の通信設備やサーバの一部を利用者が利用できるサービス。
29. オンプレミス (On Premises)
ユーザ自身が情報システムを自社で導入して、管理・運用する形態。
30. BI (Business Intelligence)
ビジネスに関わるあらゆる情報を蓄積し、その情報を経営者や社員が自ら分析し、分析結果を経営や事業推進に役立てるといった概念。
31. ビッグデータ
日々生成される多様で膨大なデータのこと。さまざまな分野で活用が進んでいる。
32. データウェアハウス (Data Ware House)
物流や販売などの部門ごとに散在していた、過去から現在までの全社のデータを統合して管理することによって、経営戦略の立案に役立てる仕組み。
33. デジタルディバイド (Digital Divide)
PC やインターネットなどの IT を利用する能力や機会の違いによって、経済的・社会的な格差が生じること。
34. 情報リテラシ (Information Literacy)
PC を利用して、情報の整理・蓄積や分析などを行ったり、インターネットなどを使って情報を収集・発信したりする、情報を取り扱う能力。

下記の練習問題で理解を深めましょう！



- ✓ 翔泳社「情報処理教科書 i パスクイズ 222 IT パスポート試験攻略の書」
- ✓ IT パスポート試験合格講座 <http://rakupass.com/itpassport/>



Copyright © RakuPass.Com - Kanya Ishikawa All Rights Reserved.